

GA-8IRX
P4 Titan-DDR マザーボード

ユーザーズマニュアル

Pentium®4 プロセッサ用マザーボード
レビジョン2.0 二版
12M D-8IRX-2002

目次

項目のチェックリスト.....	3
警告!	3
第1章 はじめに.....	4
機能のまとめ	4
GA-8IRX マザーボードのレイアウト.....	6
第2章 ハードウェアの取り付けプロセス.....	7
手順 1: 中央演算処理装置(CPU)の取り付け	8
手順 1-1: CPUの取り付け.....	8
手順 1-2: CPUヒートシンクの取り付け.....	9
手順 2: メモリモジュールの取り付け.....	10
手順 3: 拡張カードの取り付け	11
手順 4: リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置の接続.....	12
手順 4-1: I/O背面パネルの概要	12
手順 4-2: コネクタの概要.....	14
第3章 BIOSのセットアップ	20
メインメニュー	20
言語の選択	20
最適化されたデフォルトのローディング	22
セットアップの保存と終了	23
第4章 ドライバのインストール.....	24

項目のチェックリスト

- ☑ GA-8IRXシリーズマザーボード
- ☑ IDEケーブルx 1/ フロッピーケーブルx 1
- ☑ マザーボードドライブとユーティリティ用 CD(IUCD)
- ☑ GA-8IRXシリーズユーザーズマニュアル
- ☑ PCクイック取り付けガイド
- ☑ USBケーブルx 1



警告!

コンピュータのマザーボードと拡張カードには非常に精巧な集積回路(IC)チップが搭載されています。静電気による損傷から保護するために、コンピュータを取り扱う際には常に以下の注意事項に従う必要があります。

1. コンピュータの内部を操作するときは、コンピュータのプラグを抜いてください。
2. コンピュータのコンポーネントを処理する前に、アースされたリストストラップを使用してください。お持ちでない場合は、安全にアースされた物体または電源装置のケースなどの、金属の物体に両手を触れてください。
3. コンポーネントの端をつかみ、ICチップ、リード線やコネクタ、またはその他のコンポーネントに触れないようにしてください。
4. コンポーネントをシステムから離すとき、コンポーネントは、アースされた静電気防止パッドやコンポーネントに付属するバッグの上に置いてください。
5. ATXの電源コネクタをマザーボードに取り付ける時、または取り外す時は、ATX電源装置の電源がオフになっていることを確認してください。

マザーボードをシャーシに取り付ける

マザーボードにマウンティングホールが付いているのに、台の穴に一緒に並んでいなくても、またスペーサーに取り付けるスロットがなくても、心配する必要はありません。スペーサーの底部分を切り取るだけで、スペーサーをマウンティングホールに取り付けることができます(スペーサーは堅いので、手を傷つけないように注意してください)。こうすることで、ショートする心配なしにマザーボードを第1に取り付けることができます。マザーボードのPCB面からネジを外す時、回路線が穴の近くにあるため、プラスチックばねを使用する必要がある時があります。ネジが固定穴の近くにあるPCB上の印刷回路や部品に触れないように注意してください。そうでないと、ボードを破損したり、ボードの誤動作を引き起こすことがあります。

第1章 はじめに

機能のまとめ

フォームファクタ	30.5cm x 22.8cm ATXサイズのフォームファクタ、4層PCB.
CPU	Intel® Micro FC-PGA2 Pentium® 4プロセッサ用のSocket 478 Intel Pentium®4 400MHz FSB CPUによって決まる2番目のキャッシュ
チップセット	チップセット82845 HOST/AGP/コントローラ 82801BA(ICH2) I/Oコントローラ/ブ
メモリ	3 184ピンDDR DIMMソケット PC1600 DDRまたはPC2100 DDR DIMMをサポート 2GB DRAM (最大)までサポート 2.5V DDR DIMMのみをサポート Supports 64ビットECCタイプのDRAM完全性モードをサポート
I/Oコントロール	IT8712
スロット	1 CNR(通信とネットワークアダプタ)スロット 1 AGPスロット 4X (1.5V)デバイスのサポート 6 PCIスロットのサポート133MHz & PCI 2.2準拠
オンボードHDE	Intel 82801BA PCIチップセット上のIDE コントローラ PIO、バスマスタUltra DMA33/ATA66/ATA100)操作 モードを備えたIDE HDD/CD-ROMを提供 最大4つのIDEデバイスを接続可能
オンボード周辺機器	1基のフロッピーポートが360K, 720K, 1.2M, 1.44M バイトの2 FDDをサポート 1つのパラレルポートが標準/EPP/ECPモードをサポート 2つのシリアルポート(COMA&COMB) 4つのUSBポート(背面USB x 2、前面USB x 2) 1 SCRコネクタ 1 IrDAコネクタ(IR用)
ハードウェアモニタ	CPU/電源/システムファン回転の検出 CPU/電源/システムファンのコントロール CPUの過熱警告 システム電圧の検出

続く....

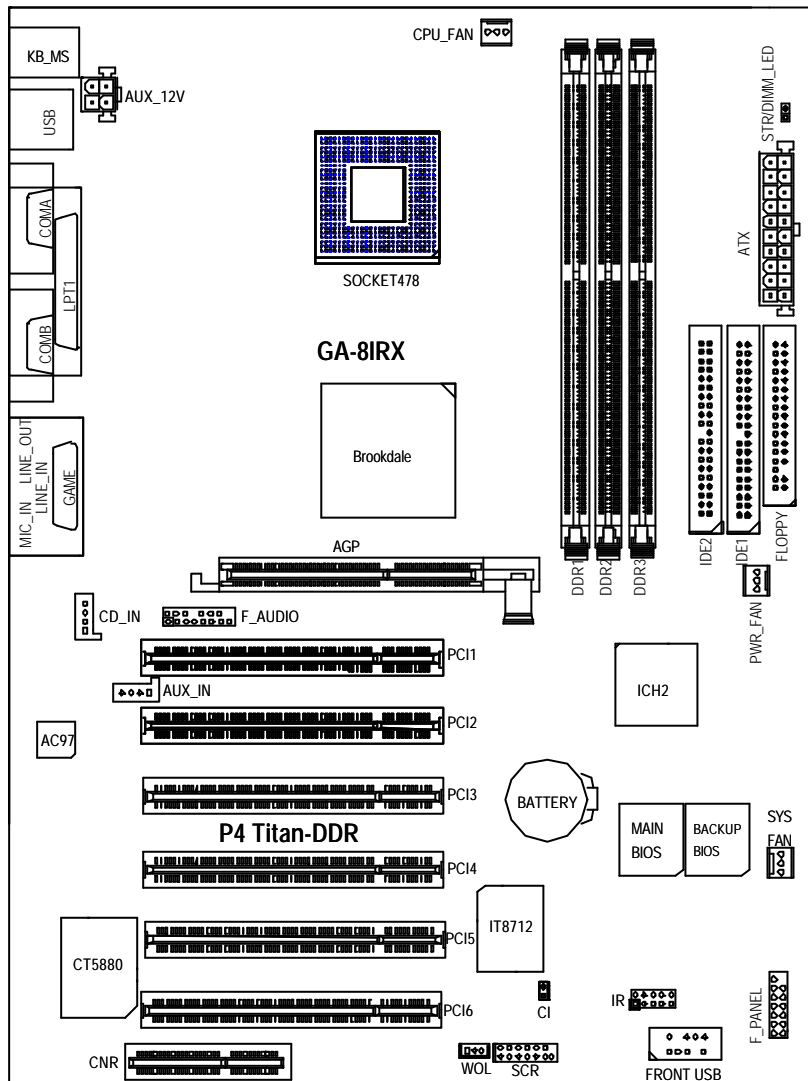
オンボードサウンド	Creative CT5880サウンドチップセット + Sigmatel 9708T CODEC ラインイン/ラインアウト/Micイン/CDイン/AUX_IN/ゲームポート
PS/2コネクタ	PS/2キーボードインターフェイスとPS/2マウスインターフェイス
BIOS	ライセンスを受けたAWARD BIOS、4Mビット x 2 FWH デュアルBIOSをサポート
追加機能	パスワードによるPS/2キーボード電源 PS/2マウスの電源オン 外部モデムの呼び起し STR(サスペンドからRAM) 呼び起しLAN AC回復 S3からKB/マウスの呼び起し @BIOSのサポート EasyTuneIIIのサポート マルチ言語のサポート
特殊機能	過電圧(RIMM/AGP/CPU) オーバークロック(CPU/PCI/AGP)



プロセッサの仕様に従ってCPUホストの周波数を設定してください。CPU仕様を超えてシステムバスの周波数を設定することはお勧めしません。これらの特定のバス周波数はCPU、チップセットおよびほとんどの周辺機器にとって標準仕様ではありません。お使いのシステムがこれらの特定のバス周波数の元で適切に動作できるかどうかはCPU、チップセットSDRAM、カードなどのハードウェア構成によって決まります。

GA-8IRX マザーボードのレイアウト

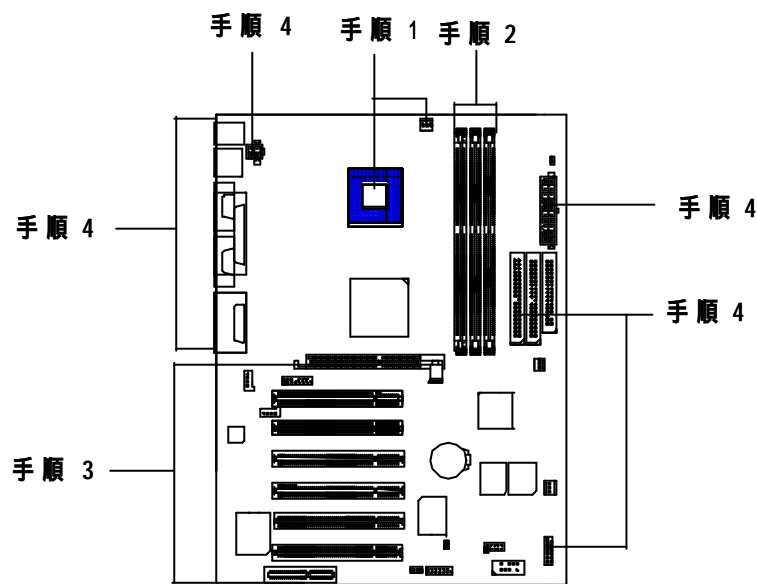
日本語



第2章 ハードウェアの取付けプロセス

お使いのコンピュータをセットアップするには、次のセットアップを完了する必要があります。

- 手順 1- 中央演算処理装置(CPU)の取付け
- 手順 2- メモリモジュールの取付け
- 手順 3- 拡張カードの取付け
- 手順 4- リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置の接続
- 手順 5- BIOSソフトウェアのセットアップ
- 手順 6- サポートソフトウェアツールのインストール



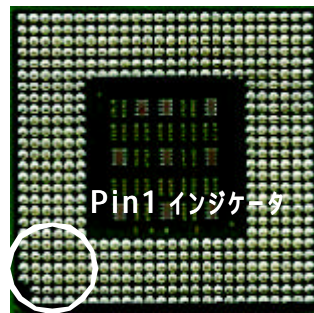
日本語

手順 1: 中央演算処理装置 (CPU) の取り付け

手順 1-1 CPU の取り付け



CPU 上面ビュー



CPU 底面ビュー



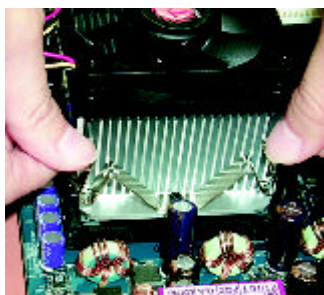
1. CPUソケットレバーを90度の角度まで引き上げます。
3. CPUソケットレバーを押し下げ、CPUの取付けを完了します。



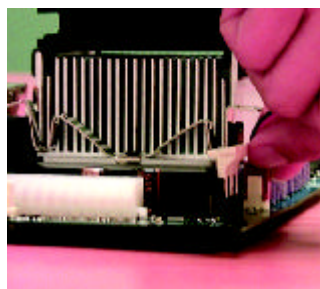
2. Pin 1ソケットを探し、CPUの上隅に(金色の)カットエッジを見つけます。その後、CPUをソケットに挿入します。

- ※ Bタイプがマザーボードでサポートされていることを確認してください。
- ※ CPUソケットピン1とCPUの切り口がうまく一致しないと、取り付けがうまくいきません。挿入する方向を変えてください。

手順 1-2 : CPUヒートシンクの取り付け



1. クーラーブラケットの一方の端をまずCPUソケットに留めます。



2. クーラーブラケットのもう一方の端をCPUソケットに留めます。

- ※ Intelが承認したクーリングファンをご使用ください。
- ※ CPU とヒートシンクの間を熱伝導率を向上させるために、感熱糊を塗ることをお勧めします。
- ※ CPU ファンの電源ケーブルがCPUファンコネクタに差し込まれていることを確認してください。これで、取り付けが完了します。
- ※ 詳細な取り付け手順に関しては、CPUヒートシンクのユーザーズマニュアルを参照してください。

日本語

手順2: メモリモジュールの取り付け

マザーボードには3つのデュアルインラインメモリモジュール(DIMM)ソケットが搭載されていますが、最大4バンクのDDRメモリしかサポートできません。DDRスロット1は2つのバンクを使用し、DDRスロット2および残りの2つのバンクを共有します。サポートされるメモリ構成については、次の表を参照してください。BIOSはメモリの種類とサイズを自動的に検出します。メモリモジュールを取り付けるには、DIMMスロットに垂直に押し込みます。DIMMモジュールはノッチが原因で一方向きしか適合できません。メモリサイズはソケットごとに異なります。

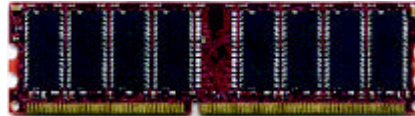
バツファなDDR DIMMを持つ全メモリサイズ

DIMMに使用されているデバイス	1 DIMM x 64 / x 72	2 DIMMs x 64 / x 72	3 DIMMs x 64 / x 72
64 Mビット(2Mx8x4バンク)	128 M/バイト	256 M/バイト	256 M/バイト
64 Mビット(1Mx16x4バンク)	32 M/バイト	64 M/バイト	96 M/バイト
128 Mビット(4Mx8x4バンク)	256 M/バイト	512 M/バイト	512 M/バイト
128 Mビット(2Mx16x4バンク)	64 M/バイト	128 M/バイト	196 M/バイト
256 Mビット(8Mx8x4バンク)	512 M/バイト	1 G/バイト	1 G/バイト
256 Mビット(4Mx16x4バンク)	128 M/バイト	256 M/バイト	384 M/バイト
512 Mビット(16Mx8x4バンク)	1 G/バイト	2 G/バイト	2 G/バイト
512 Mビット(8Mx16x4バンク)	256 M/バイト	512 M/バイト	768 M/バイト

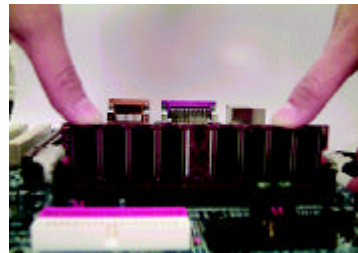
注: 両面 x16 DDR メモリデバイスは Intel 845 チップセットによってサポートされていません。

DDR1	DDR2	DDR3
S	S	S
D	S	S
D	D	X
D	X	D
S	D	X
S	X	D

D: 両面DIMM S: 片面DIMM X: 未使用



DDR



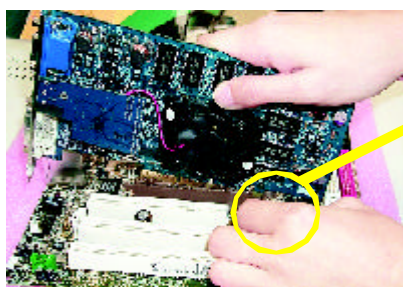
1. DIMMスロットにはノッチが備わっているため、DIMMメモリモジュールは一方向きにのみフィットします。
2. DIMMメモリモジュールをDIMMスロットに垂直に差し込みます。その後、押し下げます。
3. DIMMスロットの両端のプラスチッククリップを閉じてDIMMモジュールをロックします。DIMMモジュールを取り外す時は、取り付け手順を逆に行ってください。



- STR/DIMMLED がオンになっているとき、ソケットにDIMMを取り付けたり、ソケットからDIMMを取り外さないでください。
- ノッチが2つあるため、DIMMモジュールは一方向きにのみフィットしないことにご注意ください。方向を間違えると、取り付けはうまくいきません。差し込む方向を変更してください。

手順3: 拡張カードの取り付け

1. 拡張カードをコンピュータに取り付ける前に、関連する拡張カードの指示マニュアルをお読みください。
2. コンピュータからコンピュータのシャーシカバー、必要なネジ、スロットブラケットを取り外してください。
3. 拡張カードをマザーボードの拡張スロットにしっかり押し込んでください。
4. カードの金属接合部がスロットにしっかり取り付けられていることを確認してください。
5. ネジを交換して拡張カードのスロットブラケットをしっかりと締めてください。
6. コンピュータのシャーシカバーを元に戻します。
7. コンピュータの電源をオンにします。必要に応じて、BIOSから拡張カードのBIOSユーティリティをセットアップします。
8. オペレーティングシステムから関連するドライバをインストールします。



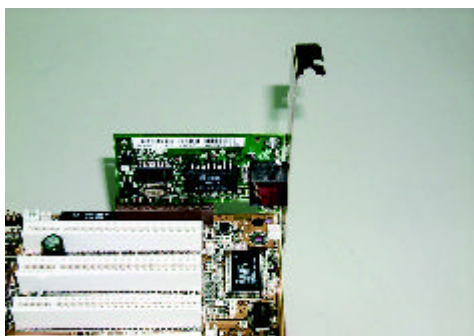
AGP カード



AGP カードをインストールまたはアンインストールしようとするとき、AGP スロットの端にある小さな白い引き出し可能レバーを、注意深く抜いてください。そして、AGP カードをボード上のAGP スロットと一直線に挿入、スロットにしっかり押し込んでください。お使いのAGP カードが、小さな白い引き出し可能レバーによってロックされていることを確認します。

CNR を取り付けるときは、特に注意してください

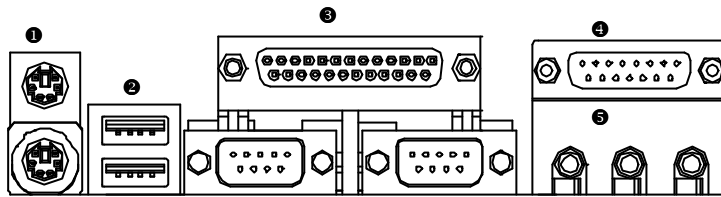
機械上の問題を避けるために、同様の標準のCNRカードをご使用ください。



標準のCNRカード

手順4: リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置を接続します

手順4-1: I/O 背面パネルの概要



② PS/2 キーボードと PS/2 マウスコネクタ

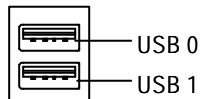


PS/2 マウスコネクタ
(6ピンス)

PS/2 キーボードコネクタ
(6ピンス)

➤ このコネクタは標準の PS/2 キーボードと PS/2 マウスをサポートしています。

② USB/LAN コネクタ

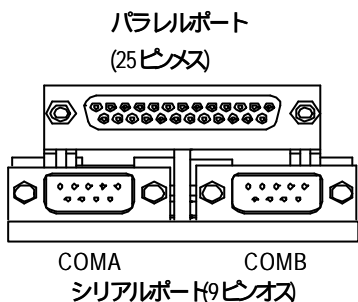


USB 0

USB 1

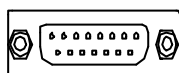
➤ デバイスを USB コネクタに接続する前に、USB キーボード、マウス、スキャナ、zip、スピーカーなどのデバイスが標準の USB インターフェイスを装備していることを確認してください。お使いの OS (USB サプリメントを搭載した Win95、Win98、Windows 2000、Windows ME、SP 6 を搭載した Win NT) が USB コントローラをサポートしていることも確認してください。OS が USB コントローラをサポートしていない場合、OS ベンダーに連絡して可能なパッチまたはドライバのアップグレードを入手してください。詳細については、OS またはデバイスのベンダーにお問合せください。

⑥ パラレルポートとシリアルポート(COMA/COMB)



➤ このコネクタは2つの標準COMポートと1つのパラレルポートをサポートしています。プリンタのような機器はパラレルポートに接続します。マウスやモデムなどはシリアルポートに接続します。

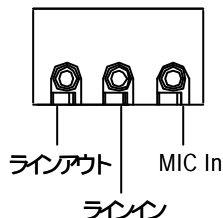
⑦ ゲーム/MIDIポート



ジョイスティック MIDI (15ピンス)

➤ このコネクタはジョイスティック、MIDIキーボード、その他の関連するオーディオデバイスをサポートします。

⑧ オーディオコネクタ

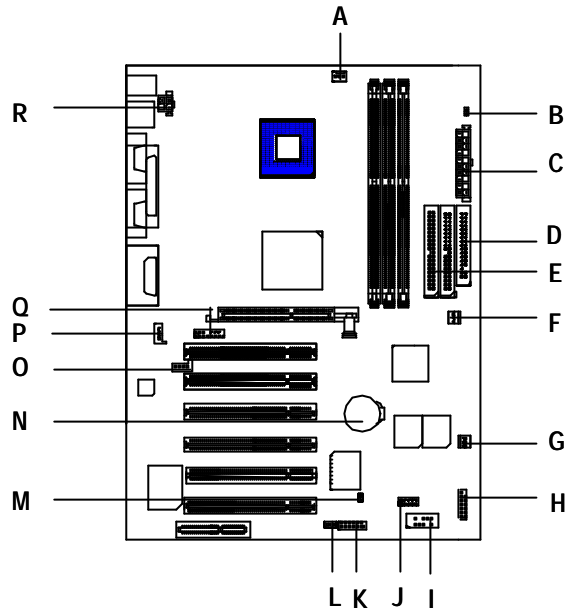


➤ オンボードオーディオドライバをインストールした後、スピーカーをラインアウトジャックに、マイクをMIC インジャックに接続する必要があります。CD-ROMやウォークマンなどのデバイスは、ラインインジャックに接続することができます。
 注意: ラインアウト 1: ラインアウトまたはSPDIF (SPDIF 出力はデジタルオーディオを外部スピーカーに、または圧縮されたA C 3 データを外部Doblyデジタルデコーダに供給することができます)。SPDIF を有効にすると SPDIF コネクタをラインアウト1に挿入するだけで、ラインアウト1は、自動的にSPDIFアウトになります。
 4 スピーカー (Creative 5880オーディオ専用) を有効にすると、ラインインはラインアウト2になり、ステレオスピーカーの2番目のペアをサポートします。



4 スピーカー&SPDIF セットアップ情報の詳細については、Gigabyte web サイト <http://www.gigabyte.com.tw> からこのマニュアルをダウンロードしてください。

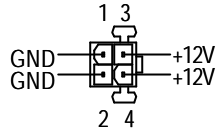
手順 4-2 :コネクタの概要



A) CPU_FAN	J) IR/CIR
B) STR/DIMM_LED	K) SCR
C) ATX	L) WOL
D) FLOPPY	M) CI
E) IDE1/IDE2	N) BAT
F) PWR_FAN	O) AUX_IN
G) SYS_FAN	P) CD_IN
H) F_PANEL	Q) F_AUDIO
I) FRONT_USB	R) AUX_12V

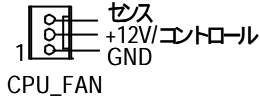
R) AUX_12V(+12V電源コネクタ)

➤ このコネクタ(ATX +12V)はCPUコア電圧専用で使用されています。

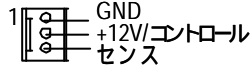


A) CPU_FAN (CPUファンコネクタ)

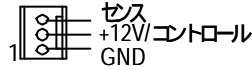
➤ 注意。CPUクーラーを正しく取り付けることは、CPUがコントロール不能に陥ったり過熱により損傷しないために不可欠です。CPUファンコネクタは最大600mAまでサポートします。



F) PWR_FAN (電源ファンコネクタ)

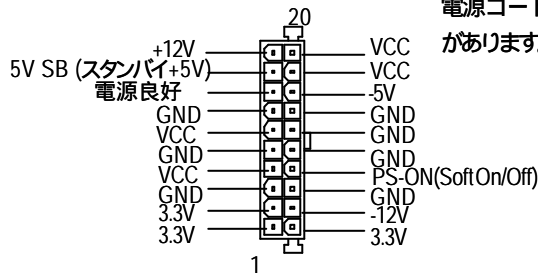


G) SYS_FAN (システムファンコネクタ)

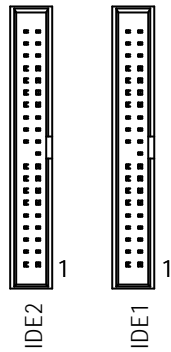


C) ATX (ATX電源コネクタ)

➤ ATX電源ケーブルと他の関連するデバイスをメインボードにしっかり接続した後AC電源コードを電源装置に接続する必要があります。

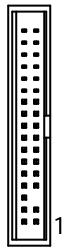


E) IDE1 / IDE2コネクタ(プライマリセカンダリ)

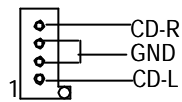


➤ 重要な通告:
 まずハードディスクをIDE1に、次に
 CDROMをIDE2に接続してください!

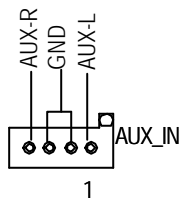
D) フロッピー(フロッピーコネクタ)



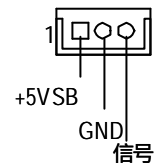
P) CD_IN (CDオーディオラインインコネクタ)



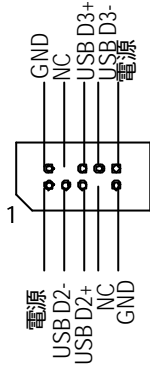
O) AUX_IN (AUX Inコネクタ)



L) WOL(呼び起しLAN)

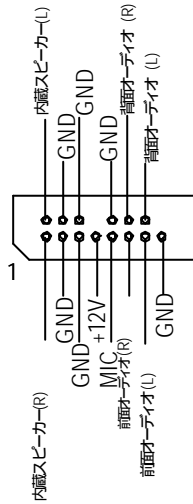


I) FRONT_USB (前 面 USBコネクタ)



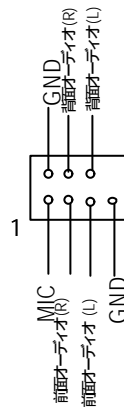
▶ 前面パネルのUSBコネクタのプラスとマイナスにお気をつけください。前面パネルのUSBケーブルに接続する際は、ピン割当をチェックしてください。オプションのフロントパネルUSBケーブルについては、最寄りの販売店に連絡してください。

Q) F_AUDIO (F_AUDIO Connector)
前面オーディオコネクタには2つのタイプがあります。取り付ける前に下の表を参照してください。



タイプ1

▶ タイプ1- 前面オーディオコネクタをご使用になる場合、11-12, 13-14 ジャンパを移動する必要があります。タイプ2- 前面オーディオコネクタをご使用になる場合、3-4, 5-6 ジャンパを移動する必要があります。前面オーディオヘッドを利用するには、シャーシに前面オーディオコネクタを装備している必要があります。また、ケーブルのピン割当てがMBヘッダのピン割当てと同じになっていることを確認します。お求めのシャーシが前面オーディオコネクタをサポートしているかどうかを知るには、販売店にお問合せください。



タイプ2

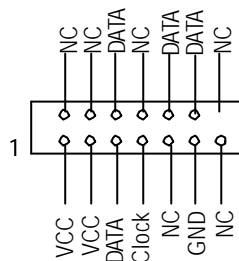
B) STR/DIMM_LED



STR/DIMM LED

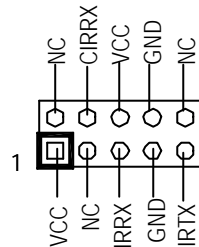
- DIMM LEDがオンになっている間はメモリモジュールを取り外さないでください。25Vのスタンバイ電源により、ショートしたり予期せぬ損傷をこうむる恐れがあります。メモリモジュールの取り外しは、STR機能がジャンパによって無効にされ、AC電源コードの接続が切れている場合にのみ行うようにしてください。

K) SCR (スマートカードリーダーのヘッダ)



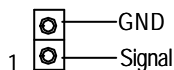
- このMBIはスマートカードリーダーをサポートしています。スマートカードリーダー機能を有効にするには、オプションのスマートカードリーダーが必要です。公認の代理店にお問合せください。

J) IR/CIR (IR/CIR)



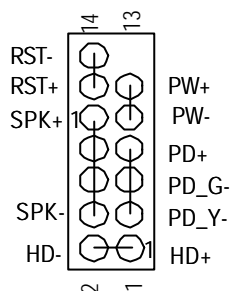
- IRデバイスのピン1がコネクタのピン1と一直線に並んでいることを確認してください。ボード上のR/CIR機能を有効にするには、オプションのIR/CIRモジュールをお求めになる必要があります。詳細については、公認のGiga-Byte代理店にお問合せください。IR機能のみを使用するには、IRモジュールをピン1からピン6に接続してください。

M) CI (CASE OPEN)



- このピンコネクタにより、システムケースを取り外すと、システムはシステムアラームの有効/無効を切り替えることができます。

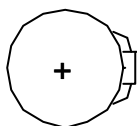
H) F_PANEL (2x7ピンジャンパ)



HD (IDEハードディスクアクティブLED)	ピン1: LED陽極(+) ピン2: LED陰極(-)
SPK (スピーカーコネクタ)	ピン1: VCC(+) ピン2- ピン8: NC ピン4: データ(-)
RST (リセットスイッチ)	開く 標準操作 閉じる: ハードウェアシステムのリセット
PD+/PD_G/PD_Y(電源LED)	ピン1: LED陽極(+) ピン2: LED陰極(-) ピン8: LED陰極(-)
PW (ソフトによる電源コネクタ)	開く 標準操作 閉じる: 電源オンオフ

- 上のピン割当に従って、シャーシ前面パネルの電源LED、PCスピーカー、リセットスイッチ、電源スイッチをフロントパネルのジャンパに接続してください。

N) BAT (バッテリー)



注意

- ❖ バッテリーを正しいものと交換しないと爆発の危険があります。
- ❖ 交換する際は、メーカーが推奨するバッテリーと同じものまたは同等のものだけを使用するようにしてください。
- ❖ 使用済みバッテリーは、メーカーの指示に従って処分してください。

第3章 BIOSのセットアップ

BIOSのセットアップは BIOSセットアッププログラムの概要です。このプログラムにより、ユーザーは基本的システム構成を変更することができます。このタイプの情報は、バッテリーでバックアップされたCMOSRAMに格納されているため、電源をオフにしたときにもセットアップ情報を失うことはありません。

セットアップに入る

コンピュータの電源をオンにした後、POST (電源オン自己診断) 中に直ちにを押すと、Award BIOS CMOSセットアップに入ることができます。

ヘルプの手引き

メインメニュー

強調表示されたセットアップ機能のオンライン説明は、画面の下部に表示されています。

状態ページのセットアップメニュー / オプションページのセットアップメニュー

F1を押すと、適切なキーの使用法と強調表示された項目の考えられる選択を説明する小さなヘルプウィンドウがポップアップ表示されます。ヘルプウィンドウを終了するには、<Esc>を押します。

メインメニュー

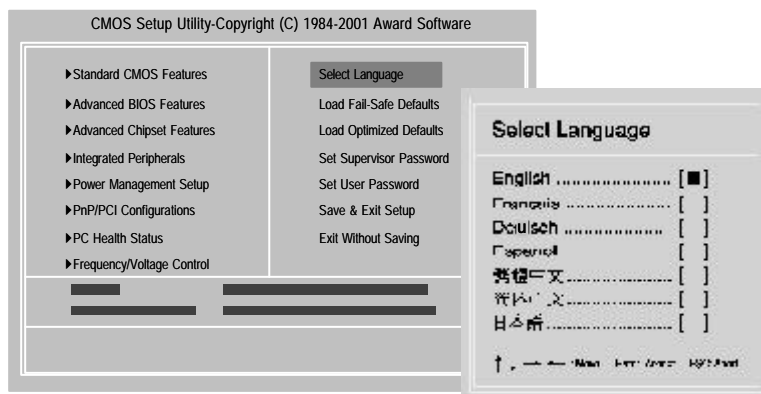
Award BIOS CMOSセットアップメニューに入ると、画面にメインメニューが表示されます。メインメニューにより、8つのセットアップ機能とつの終了選択から選ぶことが可能です。矢印キーを使用して項目を選択し、<Enter>を押してサブメニューを受け入れるか、そこに入ります。

デュアルBIOS / Q-フラッシュユーティリティ

コンピュータの電源をオンにした後、POST (電源オン自己診断)の間直ちにを押すと、Award BIOS CMOSセットアップに入ることができます。その後、<F8>を押してデュアルBIOS/Q-フラッシュユーティリティに入ります。DualBIOS/Q-FlashUtilityの詳細をお知りになりたい場合、Gigabyteのwebサイト、<http://www.gigabyte.com.tw>からこのマニュアルをダウンロードしてください。

言語の選択

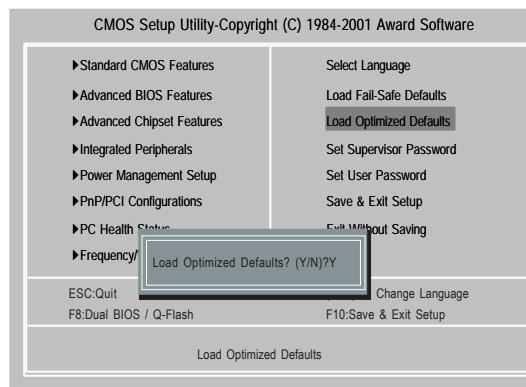
<F3>を押すと、複数の言語を選択することができます。英語、日本語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、簡体中国語、繁体中国語など、7つの言語を使用することができます。



- **標準のCMOS機能**
このセットアップページには、標準の互換BIOSの全ての項目が含まれます。
- **BIOSの拡張機能**
このセットアップページには、Awardの特殊な拡張機能の全ての項目が含まれます。
- **チップセットの拡張機能**
このセットアップページには、チップセットの特殊な拡張機能に関する全ての項目が含まれます。
本当に必要になるまでは、チップセットのデフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。
- **統合された周辺機器**
このセットアップページには、全てのオンボードに関する周辺機器が含まれます。
これが本当に必要になるまでは、デフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。パワーユーザー専用。
- **省電力のセットアップ**
このセットアップページには、環境機能に関する全ての項目が含まれます。
これが本当に必要になるまでは、デフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。パワーユーザー専用。
- **PnP/PCIの構成**
このセットアップページには、PCIとPnP ISA リソースに関する全ての構成が含まれます。
これが本当に必要になるまでは、デフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。パワーユーザー専用。
- **PCのヘルス状態**
このセットアップページでは、システムの温度、電圧、ファン、速度を自動的に検出します。
- **周波数 / 電圧のコントロール**
このセットアップページでは、CPUのクロックと周波数比をコントロールします。
パワーユーザー専用。
- **言語の選択**
このセットアップページでは、複数の言語を選択します。
- **デフォルトのフェールセーフのローディング**
デフォルトのフェールセーフは、システムが安全な状態にあるシステムパラメータの値を示します。
- **最適化されたデフォルトのローディング**
最適化されたデフォルトは、システムが最高の性能構成を設定されているシステムパラメータの

- 値を示します。
- **管理者パスワードの設定**
パスワードを変更、設定、または無効にします。この機能により、システムとセットアップ、またはセットアップのみへのアクセスに制限できます。
- **ユーザーパスワードの設定**
パスワードを変更、設定、または無効にします。この機能により、システムへのアクセスを制限できます。
- **セットアップの保存と終了**
CMOS設定をCMOSに保存して、セットアップを終了します。
- **保存せずに終了**
すべてのCMOS値の変更を無視して、セットアップを終了します。

最適化されたデフォルトのローディング

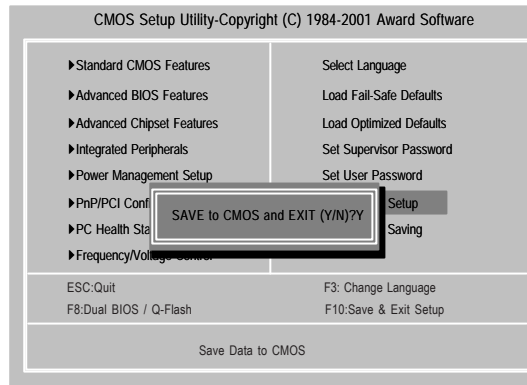


☞ 最適化されたデフォルトのローディング

このフィールドを選択すると、BIOSとチップセット機能の工場出荷値をロードして、それをシステムが自動的に検出します。

最適化されたデフォルトをロードするには、キーボードの矢印キーを押しながらカーソルを移動して、最適化されたデフォルトを強調表示し、Enterキーを押してから、このオプションのローディングを決定したら"Y"を押します。

セットアップの保存と終了



☞ BIOS設定画面を保存して終了するには、F10を押し、設定を保存したい場合は"Y"を押しします。"N"または"ESC"を入力すると、セットアップ画面に戻ります。



BIOS セットアップ情報の詳細をお知りになりたい場合、Gigabyte のホームページ<http://www.gigabyte.com.tw>からこのマニュアルをダウンロードしてください。

日本語

第4章 ドライバのインストール

下の写真はWindows ME (IUCD ドライババージョン1.9) に表示されているものです。

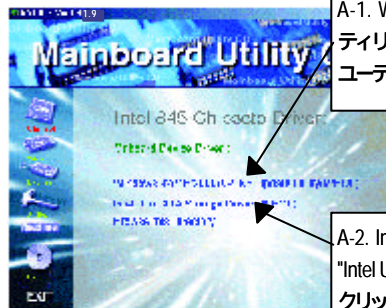
マザーボードに付属するドライバ用CDタイトルをCD-ROMドライブに挿入します。ドライバ用CDタイトルが自動に読み込まれ、インストールガイドを表示します。表示されない場合は、マイコンピュータのCD-ROM デバイスをダブルクリックし、setup.exe を実行してください。

A. Intel 845チップセットドライバをインストールする

まず最初にこのドライバをインストールしてください。このドライバはチップセットのドライバユーティリティをインストールし、Intel チップセットのエポーネット用のプラグアンドプレイNFサポートを有効にします。

B. サウンドドライバをインストールする

この項目をクリックして、サウンドドライバをインストールします。



A-1. Windows 9x/ME/2000/XP INFのアップデートユーティリティ
Windows 9x/ME/2000/XP INFアップデートユーティリティ "項目をクリックします。

A-2. Intel Ultra ATA記憶装置用ドライバ
"Intel Ultra ATA記憶装置用ドライバ"項目をクリックします。

B: サウンドドライバのインストール



"オーディオ"アイコンを押します。

1. "Creative CT5880サウンドドライバ"項目をクリックします。